

Feudal Loadship in Mino Region of Owari-han

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/1559

[資料] 尾張藩美濃領の給人とその給知

Feudal Lordship in *Mino* Region of *Owari-han*

梶川 勇作

Yusaku KAJIKAWA

尾張藩の初代藩主・徳川義直（家康の第九子，当時は義利）は，慶長12年（1607）閏4月26日に尾張清洲（現・愛知県西春日井郡清洲町）へ入封した。当初，義直の領地は尾張国一円であったが，その石高は定まっていなかった。翌年に行なわれた尾張一国の検地，いわゆる「備前検地」による尾張の石高は472,345石である。しかし，この検地の実施されていない，中島，海西両郡の横井一族の知行地と海西郡の早尾輪中（現・海部郡立田村）の両者を加えると，当時の尾張一国の石高は481,301石であった。

慶長17年（1612）木曾川筋の流路が移動したために，尾張・美濃国境の変更があり，元的美濃海西郡富安輪中（現・海部郡立田村）6カ村と美濃中島郡中野村（現・尾西市西中野）が尾張に移り，尾張藩領となった。また，これとは別に，同年正月と4月に美濃国8カ村が加封されている。次いで，元和元年（1615）8月，大坂落城の後，帰途名古屋城に立ち寄った家康は，信濃国木曾（28カ村）および木曾川沿いの美濃国可児・加茂・恵那・武儀四郡の中で57カ村の32,283石を義直に加増した。木曾の28カ村では慶長18年（1613），年貢米高を1,682石と決定したが，耕地には高をつけず，無高とした。

元和5年（1619）に美濃で137カ村，50,000石の加増があった。これは頼宣が駿府から紀伊に移封された時に50,000石の加増があったので，尾張家にも同額の加増が行われたのである。これにより尾張藩の領高は572,110石となった。これが幕府から尾張藩に付与された領高である。

しかし，尾張藩では，この他に，義直の尾張入封（1608年）から元和5年（1619）までに義直に新しく付属となった旧幕臣らの知行高が領高に加えられている。これが尾張藩で「給人領」と呼ぶものであり，美濃・三河・近江・摂津の四カ国において，高47,390石である。

こうして元和5年（1619），尾張藩の公称高619,500石が確定した。その内訳は，尾張一國482,224石，美濃127,044石（うち38,688石は給人領），三河5,000石（渡辺家の給人領），近江5,000石（玉置家と本多家の給人領），摂津233石（石河家の給人領）である。

美濃に本領を有して永く存続した藩は，加納・大垣・大垣新田・郡上・岩村・苗木・高富・高須の8藩である。最大は戸田氏の大垣藩10万石である。高須藩は尾張藩の支藩である。一方，美濃国外の大名で美濃に所領を有するものに，尾張・磐城平・備中岡田の3藩があり，これを「国外三藩」と称している。尾張藩の美濃領高127,044石は美濃国内のいずれの藩よりも石高が多いのである。

『旧高旧領取調帳』によると，明治2年（1869）の美濃の郡の石高に占める尾張藩領（前年に尾張藩から独立した今尾藩と犬山藩を含む）の割合の高い郡は，武儀（64%），可児（57%），羽栗（48%），加茂（45%），中島（45%）であり，その割合が10%以下の郡は，山県（3%，幕府領71%），大野（5%，大垣藩34%），池田（5%，大垣藩61%），不破（5%，大垣藩74%），厚見（8%，加納藩63%），石津（9%，幕府領31%），土岐（9%，幕府領46%）である。尾張領の存在しない郡は，海西（高須藩60%，幕府領37%），席田（旗本領94%），郡上（郡上藩79%，幕府領11%，旗本領10%）の三郡であった。

さて，尾張藩における給知の割合は，寛永8年（1631）には72%にも達したが，幕末期には50%近くまで低下する。しかし，尾張に比べて美濃では初期から給知の割合が低かった。初代藩主・義直が黒印状をもって与えた給知の割合は尾張では57%を占めるが，美濃では24%に過ぎなかった。

後述の「徇行記」などに基づいて、村を一円蔵入、一円給知、蔵入給知立合に三区区分すると、美濃領では、村数の比率で、一円蔵入が多く（45%）、それに次いで一円給知が31%あり、蔵入給知立合が少ない（11%）。一方、尾張では蔵入給知立合が37%を占め、一円給知が比較的少ない（24%）。美濃領では、少数の大身の知行地が多い。これは、尾張藩が延宝5年（1677）頃から、「名古屋城下から遠隔の土地では年貢の徴収などにも困難を伴うと思われる五百石までの知行取には専ら尾張部で給知を割り当て、千石以上の大身には半分以上を美濃で与える」という方針を採ったためである。

尾張藩で蔵入高が増えた政策の一つに「高概し」がある。正保2年（1645）に村高の改定とそれに伴い給人の知行地割り替えを行なった。村高の改定とは、寛永11年（1634）から同20年までの10年間の年貢を村ごとに調査して、その平均がちょうど4割になるように村高を定め直したことをさす。以降、この村高を概高といい、備前検地による村高を元高というようになった。年貢徴収や藩士への宛行は、この概高によることになったが、幕府に対しては幕末まで元高を使用した。村高の改定の結果、尾張では元高483,433石から概高631,383石に147,950石が増え、美濃では元高127,044石から148,524石に20,480石が増えた。この増加分（168,430石）はすべて蔵入地になった。この高概しは、寺社領のほか、給人領であった三河・近江・摂津と一円蔵入である木曾には実施する必要がなかった。

尾張藩領における村別の給人の給知高を記載した資料として「徇行記」がある。これは尾張藩士の樋口好古（1750-1826）が領内の村を巡視して、寛政4年（1822）から文政5年（1822）にかけて著した地誌である。ただし、今日では尾張の葉栗郡全域および中島郡と知多郡の一部を欠いている。

次に掲げるのは、この「徇行記」に記載された美濃領の給人の給知を集計したものである。尾張の給知高には徇行記を欠く地域を含まないことに留意されたい。

参考文献

- ・平塚正雄編『濃州徇行記・濃陽志略』一誠社（1937年）、大衆書房（1970年復刻）
- ・『尾張徇行記、1～5』名古屋叢書続編、4～8（1964年～1969年）名古屋市
- ・『旧高旧領取調帳・中部編』近藤出版（1977年）
- ・『岐阜県史・通史編・近世上』岐阜県（1981年）
- ・徳川義親『尾張藩石高考』徳川林政史研究所（1959年）

尾張藩美濃領の給人とその知行地

注：寛政・文化・文政年間。給人は総知行高の順。給知は郡名、村名、石高（単位：石）の順。同一の郡は郡名を省略した。高は概高。下線はその給人の一円給知の村。

給人名：給知村・給知高

- 成瀬隼人正：中島郡西加賀野井 213 東方 251 市ノ枝 560 安八郡中 246 牧 949
多芸郡口ケ島 519＝美濃3011＋尾張(31989)＝35000 ()は知行高からの逆算
- 竹腰山城守：武儀郡吉田 2363 志摩 231 志津野 1246 加茂郡下牧野 189 小山 172
西脇 334 柄井 272 信友 370 安八郡土倉 531 脇野 700 今尾 945 大牧 119
石津郡牧田 657 多芸郡烏江 114 栗笠 100 舟付 904＝美濃 10419
＋尾張(19581)＝30000 ()は知行高からの逆算
- 石河伊賀守：山県郡植野 196 中屋 191 中島郡駒塚 298 大浦 328 城屋敷 226 本巢郡曾井中島 1614
安八郡付寄 95 北今ヶ淵 262 大明神 79 大野 297 南条 180 勝 3 成田 766
石津郡市ノ瀬 438 福江 189 多芸郡飯田 685 大野郡上岡島 9 下岡島 51 乙原 81
東横山 111 辻 283 沢 216 小衣斐 465 郡家 179 下座倉 31 方県郡折立 413

- 鷲山 201 志段味 26 厚見郡萱場 23 古津 168 池田郡片山 18 東野 198 岡 370 大門 52
溝尻 9 西横山 125=美濃 8657+摂津 271=8928
- 横井伊折介：羽栗郡本郷 482 間島 323 西小熊 150 中島郡飯柄 350 狐穴 582 舟橋 537=美濃 2424
+尾張 4246=計 6670
- 山村甚兵衛（木曾衆）：可兒郡伊岐津志 200 羽崎 883 久々利 400 井尻 438 美佐野 200 谷 100
大久保 50 恵那郡正家 200 茄子川 350 千旦林 126 手金野 284 中津川 1307 落合 240
土岐郡一日市場 25 大湫 55 日吉 348 白倉 387 深沢 100 田高戸 10 志月 4
細久手（無高）=美濃 5707
- 千村平右衛門（木曾衆）：可兒郡伊岐津志 150 大森 849 久々利 400 中切 492 宿 222 綱木 65
小和沢 56 比衣 595 恵那郡正家 400 茄子川 125 千旦林 126 駒場 768 落合 240
土岐郡一日市場 25 大湫 55 深沢 150 田高戸 10 志月 4 松野 8=美濃 4740
- 織田遠江：加茂郡下飯田 343 比久見 557 可兒郡中切 154=美濃 1054+尾張 3474=計 4528
- 山澄淡路守：羽栗郡南宿 217 安八郡大森 383=美濃 600+尾張 3914=計 4514
- 成瀬織部：加茂郡山ノ上 163 可兒郡中切 373 羽栗郡薬師寺 87=美濃 623+尾張 3725=計 4348
- 阿部肥前：武儀郡小知野 217 広見 240 羽栗郡薬師寺 84=美濃 541+尾張 3150=計 3691
- 大道寺玄蕃：中島郡狐穴 117+尾張 2817=計 2934
- 毛利源内：羽栗郡島 282 南ノ川 6 小荒井 392 市場 136 中島郡八神 789 石田 856 大須 348
=美濃 2809
- 鈴木伊予守：加茂郡今 83 上飯田 173 羽栗郡坂井 30 西小熊 87 大野郡西黒野 187 厚見郡芋島 95
=美濃 655+尾張 2003=計 2658
- 成瀬豊前：羽栗郡南宿 292 野中 237=美濃 529+尾張 2025=計 2554
- 間宮外記：加茂郡山ノ上 49 可兒郡石原 170=美濃 219+尾張 1959=計 2171
- 下条庄右衛門：羽栗郡西小熊 249 大野郡西黒野 120=美濃 369+尾張 1791=計 2160
- 成瀬大内蔵：加茂郡山ノ上 279+尾張 1521=計 1800
- 横井三太夫：安八郡高田 180 西島 197=美濃 377+尾張 1623=計 1640
- 上野千太郎：安八郡西島 150+尾張 869=計 1019
- 石川伊織：中島郡飯柄 85+尾張 915=計 1000
- 以上, 1000石以上
- 石黒丹下：安八郡二ツ木 187 柿内 244 大吉新田 445 池田郡山洞 69=美濃 945
- 渡辺主馬：可兒郡名荷 313 菅刈 140 中切 100=美濃 553+尾張 300=計 853
- 加藤多宮：加茂郡鷹ノ巣 163+尾張 637=計 800
- 高木八郎左衛門：羽栗郡南宿 94 三宅 189=美濃 283+尾張 518=計 800
- 横井孫右衛門：加茂郡上飯田 66 中島郡飯柄 53=美濃 119+尾張 662=計 781
- 横井源五兵衛：本巢郡十七条 500+尾張 279=計 779
- 野崎源五右衛門：羽栗郡直道 155 厚見郡芋島 150=美濃 305+尾張 456=計 761
- 桜井内記：羽栗郡西小熊 44+尾張 700=計 744
- 河村縫殿：羽栗郡薬師寺 86+尾張 614=計 700
- 津田縫殿：羽栗郡西小熊 102 本巢郡十七条 250=美濃 352+尾張 299=計 650
- 小笠原三郎右衛門：羽栗郡三宅 183+尾張 430=計 613
- 原平左衛門（木曾衆）：可兒郡羽崎 467 次月 51 前沢 82=美濃 600
- 野崎河内：羽栗郡平方 178 中島郡狐穴 149 本巢郡十七条 251=美濃 578

- 井野口左衛門：加茂郡山ノ上 100 可兒郡送り木 100＝美濃 200＋尾張 350＝計 550
 - 渡辺新左衛門：加茂郡伊辺 150 羽栗郡北宿 175 坂井 102＝美濃 427＋尾張 122＝計 550
- 以上、500石以上

- 生駒因幡：羽栗郡浅平 80 西小熊 114 中島郡飯柄 150 厚見郡古津 140＝美濃 484
- 沢井三左衛門：加茂郡今 29 上飯田 100＝美濃 129＋尾張 309＝計 438
- 山村重兵衛（木曾衆）：可兒郡伊岐津志 100 久々利 14 恵那郡千旦林 300＝美濃 414
- 恒川文五右衛門：大野郡西黒野 50＋尾張 350＝計 400
- 石河兵庫：羽栗郡三宅 140 厚見郡古津 108＝美濃 248＋尾張 102＝計 350
- 千村助右衛門（木曾衆）：土岐郡南垣戸 335
- 須賀井総兵衛：羽栗郡浅平 96＋尾張 231＝計 327
- 稲葉彦助：大野郡西黒野 178＋尾張 121＝計 300
- 星野勘左衛門：安八郡西島 87＋尾張 213＝計 300
- 牧野重左衛門：加茂郡山ノ上 100＋尾張 200＝計 300
- 千村藤右衛門（木曾衆）：可兒郡久々利 6 小原 126 樋ヶ洞 26 土岐郡宿 133 美濃 291
- 松井小十郎：加茂郡伊辺 101 可兒郡顔戸 46＝美濃 147＋尾張 114＝計 261
- 下方弥三郎：加茂郡鷹ノ巣 70＋尾張 180＝計 250
- 朝倉武左衛門：可兒郡菅刈 100＋尾張 150＝計 250
- 津田又六：山県郡梅原 231
- 大泉太兵衛：羽栗郡南宿 63＋尾張 187＝計 250
- 榊原孫兵衛：多芸郡飯田 20＋尾張 230＝計 250
- 馬場源之助：加茂郡上飯田 228
- 鏡嶋七郎右衛門：武儀郡広見 75＋尾張 148＝計 223
- 中根平右衛門：羽栗郡南宿 95＋尾張 113＝計 208
- 内藤浪江：可兒郡顔戸 123＋尾張 77＝計 200
- 蔦木丹左衛門：加茂郡深田 36＋尾張 164＝計 200
- 山田佐左衛門：加茂郡黒岩 100＋尾張 100＝計 200
- 三尾忠兵衛（木曾衆）：可兒郡久々利 114 恵那郡正家 86＝美濃 200
- 石川伴左衛門：加茂郡山ノ上 80＋尾張 70＝計 150
- 鳥居与三左衛門：加茂郡山ノ上 150
- 朝比奈半平：加茂郡今 132
- 稲田平左衛門：安八郡高田 128
- 千村多門（木曾衆）：可兒郡謡坂 110
- 加藤鍋助：加茂郡山ノ上 100
- 小菅庄蔵：安八郡西島 100
- 千村安右衛門（木曾衆）：土岐郡半原 100
- 原甚九郎（木曾衆）：土岐郡宿洞 100

以上、100石以上

- 中条東四郎：羽栗郡西小熊 56＋尾張 35＝計 91
- 飯沼定右衛門：加茂郡黒岩 59＋尾張 30＝計 89
- 山村平六（木曾衆）：土岐郡平岩 85

- 榊原孫四郎：羽栗郡西小熊 51 + 尾張 25 = 計 76
- 細野宇右衛門：加茂郡山ノ上 76
- 鈴木紋左衛門：安八郡高田 75
- 庵原新九郎：安八郡大尻 75
- 寺尾定右衛門：羽栗郡平方 52 + 尾張 21 = 計 73
- 野呂吉左衛門：安八郡高田 26 + 尾張 45 = 計 71
- 曲淵為吉：羽栗郡西小熊 70
- 大久保 某：羽栗郡平方 64
- 山村一学（木曾衆）：土岐郡北野 70
- 千村九十九（木曾衆）：可児郡久々利 65
- 小野三十郎：羽栗郡西小熊 60
- 水野主膳：安八郡西島 60
- 兼松丹下：加茂郡山ノ上 53
- 内藤又兵衛：可児郡送り木 50
- 横井外記：不破郡笠毛 50
- 山本十郎左衛門：加茂郡山ノ上 30

以上, 100石未満